

第53号
発行日：平成25年5月10日
発行所：
東京青山同窓会事務局
〒107-0062港区南青山
3-18-4-304
(有)ジェイ・クラブ内
TEL. 03-3423-3591
発行者 池 一

東京会報

東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—
1口 / 1,000円2口以上(年間)
会計幹事：佐藤 茂 (77回)
振込先：三菱東京UFJ銀行・
江戸川橋支店
普 1170247 東京青山同窓会
郵便振込口座 00150-9-4074

平成24年度東京青山同窓会総会 報告

平成24年11月9日(金) 於：ANAインターコンチネンタルホテル東京 佐藤晃・104回

「応援歌ヨ〜イ!」星野紹英先輩(84回)の軽快で清涼感ある掛け声とともに参加者一同から「オッス」の返答。耳慣れた響きの中に懐かしい記憶と遠いふるさとの風景が一瞬で思い出される恒例の儀式です。青山健児の一体感と高揚感は最高潮となり総会のクライマックスともいべき時を迎えます。

本年の総会は、出席者100余名晩秋の東京を感じる暖かな快晴に恵まれ開催されました。

第一部は、榎本飛鳥さん(117回)の滑らかで堂々とした司会、猪口孝会長(70回)の挨拶をいただき開会となりました。同時に日下部朋子事務局長(82回)からの会務報告、佐藤茂幹事からの会計報告があり、議事は一同より満場一致で了承されました。

引き続き来賓の紹介です。故郷新潟より同窓会本部：風間士郎副会長(64回)、富山修一副幹事長(75回)、母校より市川亮副校長、校内幹事の櫻井麻利子先生(94回)からご出席いただきました。風間副会長からは本同窓会120周年総会の開催御礼と盛大に実施された様子が紹介されました。母校音信では市川副校長より若き現役後輩達の熱意ある事例が紹介され、東京大学の校内説明会には教室に入りきれない程の

生徒達が参加を希望した事。「北信越かがやき総体」では、広田有紀さんが陸上女子800m決勝で3位入賞した事が紹介されました。まさに、自主自律・文武両道をモットーとする新潟高校精神を代表する事例紹介に参加者からは大きな拍手が続きました。

第二部に移り司会は坂井敬先輩(64回)に交代。語りかけるような穏やかな進行です。寺田秀夫先輩(50回)から乾杯のご発声をいただき酒宴の開幕。ステージでは、64回生青春の軌跡とし同期生より青春期に親まれた歌3曲(赤とんぼ、惜春会、星の降る町を)が披露されました。64回生の優しさ溢れる歌声に参加者はそれぞれの青春を思い出して聞き入ったのではないのでしょうか。

エンディングは恒例の校歌斉唱です。島津孝先輩(84回)の力強い指揮のもと一同熱唱。参加者のボルテージも最高潮となったところで、太田裕副会長から閉会の辞をいただきました。本年総会は120周年総会報告・現役生の活躍・歌など様々な趣向を織り込んだ盛りだくさんな内容でした。参加者一同あっという間に過ぎた時間を惜しみながら恒例ともなった集合写真の撮影をもって閉会となりました。

様々な年代、性別、立場の中集まった参加者は、青山の地で過ごした縁で繋がった汗や涙の思い出を共有・懐かしむ事ができたのではないのでしょうか。

二次会(三次会)を含め東京赤坂の会場は、終夜、故郷新潟と母校を愛する同窓生の笑顔であふれていました。

私事ながら当ホテルは妻と誓いを交わした思い出の場所。青山同窓会出席の度に若き自分が抱いた志をほろ苦い思い出として感じる一方、晴れの日の感動と感謝を再認識する少しセンチメンタルな時間です。青山同窓会出席の度に生じる二つの思いは、私だけの秘密の楽しみです。

平成23年度決算および24年度予算

(H24.11.9)

単位：千円

収入の部	費目	23年度決算	24年度予算	備考
	前年度繰越金	246	466	
	年会費	1,484	1,550	800名
	総会会費	864	900	
	新人歓迎会・講演会費	732	800	
	本部補助金	500	500	
	雑収入	29	0	
	合計	3,855	4,216	

支出の部	費目	23年度決算	24年度予算	備考
	総会費	960	1,000	
	新人歓迎会・講演会費	922	950	
	事務局費	114	200	創立120周年
	会議費	0	50	
	通信費	623	650	
	印刷費	701	500	会報年2回発行
	振替手数料	69	75	
	次年度繰越金	466	791	
	合計	3,855	4,216	

注：23年度 H23.10.1～H24.9.30
24年度 H24.10.1～H25.9.30



会長挨拶

東京青山同窓会会長 猪口 孝 70回



入学試験で難しい有名大学は重大な問題に直面している。東京出身の有名受験高校出身者が大学して押し掛けるために、東京大学や慶応大学や早稲田大学は地理的には東京都の大学、広くみて大東京圏の大学に事実上なっている。これでは困るのである。全国津々浦々から多様性を反映して学生を入学させなければ

ならない。それも入学試験に強いだけの学生でも困るのである。入学試験が測定しているのは限られた主題を限られた時間ですいすい解ける能力であって、人生の長い期間に試される多くの別の種類の能力については不問である。

東大までの人と、東大を出てからの人という二分類があるのだそうだ。東大の代わりに別な大学名が入ってもよいが、大学で学ぶのは後者のタイプを養成するためである。入学試験に長けているだけの前者のタイプは少なめな方がよい。伝統の長い有名私立大では系統高校から推薦入学を沢山安定的な確保に乗り出している。東京大学でも地方の出身者を推薦入学でリクルートしようとしている。それ自体大変結構なことである。しかし、推薦入学といっても大学入試センター試験が重く

のしかかってきたりして、結局受験校を地方にも伝播させるだけに終わりかねない。地方の高校はハンディが高く、競争的な大学にはとても難しくなっている。どうするか。はじめから高校を東京の有名受験校に移すのが今までの方法である。21世紀には大学を海外に移してしまうとか、日本の大学は海外の大学に留学するステップとするとかがもって出てくるだろう。もつとありそうなのは、なにもかも生活費で窮乏しかねない東京を避け、地方の大学で悠々と実力をつけてから、職場へ海外へ、大学院へと行く途もあるような気がする。

我田引水になるが、私が学長をしている新潟県立大学は志願者倍率が2009年以来10.5倍、学生満足度が83%、就職率は95%である。就職先はH.I.S.、東京海上火災、JR東日本、JTB関東、新潟県優良企業である。進学先も東京大学、千葉大学、新潟大学の大学院などがある。地域に根ざし、世界にはばたく新潟県立大学を目指している。

同窓生を訪ねて 「財務省主計局長・木下康司氏(83回)編」

滝沢 正規 80回

平成25年2月15日に、青山同窓生である財務省主計局長の木下康司氏(83回)を訪ねて話を聞いてきた。その日は、勤務の終了した夕方6時頃から1時間ほど、木下康司氏が、滝沢(80回)の訪問のために時間を割いてくれた。



木下康司氏(左)と滝沢正規氏

財務省の庁舎を訪ねると、先ず正門で入庁者の訪問チェックが行われ、誰を訪ねるのか、予約の有無等を文書に記入した。そして受付嬢が主計局長秘書と連絡を取り、滝沢の訪問が適正であることが確認されてから庁舎内に入ることができた。木下康司氏と約束した時刻にはまだ間があったので、主計局長の応接室で待つように秘書に言われた。応接室で暫く待つ間、「この空間が、日本の国家予算が決められている部署なのか…」等と思いを巡らせた。

木下康司氏は6時に会議が終わり、ほぼ約束通りの時刻に応接室に入ってきてインタビューが始まった。木下氏に幼い頃はどんな子どもだったかと最初に尋ねた。小学生の頃は西大畑に住んでいて、まだコンピュータの無い時代で、「タイガー計算機」に接する機会があり興味を持ったとのこと。その後、新潟高校に進学してからはラグビー部に所属して、勉強とラグビーに明け暮れる毎日であった。大学進学を考えるようになった時、新潟だけで

なくもつと外の世界も知りたいという欲求で、東京大学法学部に進学した。東大時代もラグビー部に入学したものの、想像以上の練習の厳しさで1年の秋には退部して、2年後半くらいから公務員試験や司法試験を目指すグループに加わり勉強をするようになった。

何故、公務員を目指したのかという問いに対して、彼は企業に属して利益を追求するよりも、自分の力を「公のために尽くす」ことに使ってみようと思ったからであると。また、木下氏の親戚に、かつての内務省と鉄道省の官吏がいて無形の影響を受け、そのことも公務員を目指す一因となったと語っていた。

最後に、青山同窓生の後輩たちへの一言として、「よく学び、よく遊べ」という言葉をもらった。特に若い時のスポーツ(部活)は、心身を鍛える上で是非とも勧めたいとも語った。部活の話で、高校時代にバレー部だった滝沢とラグビー部だった木下氏と意気投合し、今回の訪問を終えた。

なじらね会報告

幹事：内山 博勝 71回

「なじらね?」「変わらねて〜」「まあまあであらて」と新潟なまりが飛び交う飲み会は、いつも呆れるほど酒ビンが空きます。70回、71回東京在住のサッカー部、ラグビー部で構成する10名は、ウォーキングと飲み会を行っています。



さて、この会の成り立ちですが、サッカー部の小林繁雄さんが中心となって10数年前に始めた小田原ウォーキングにあります。その後、運動不足の面々が加わり、毎年秋のウォーキング20キロ、おさまりの銭湯で汗を流した後、居酒屋で慰労会です。回も重なりましたのでこの会を「なじらね会」と名づけました。「なじらね」か「なじらね」か、二手に分かれて喧々諤々、理屈のないまま力の強いなじらね派の勝利となりました。以来、年数回集まって氣勢を上げております。

メンバーの在学した昭和37、38年当時を振り返りますとサッカー部は県内に4校だけでした。当時、大学を卒業されたばかりの好漢、飯尾先生

(現三澤)の指導の下で頑張ったのですが、残念ながら優勝はできませんでした。いつも4位以内、事情を知らない友人には、私はいつも上位にいたと言っています。ラグビー部の出来島さんに聞きますと当時、ラグビー部は県内6校で争っていました。当時、赴任されたばかりの関根先生、OBの岸田さんの熱情でラグビー部が再建され、15人に充たない部員にレスリング部などの応援を加えてリーグ戦を闘っていたのですが、新潟工業、新潟商業という強敵がいたため、残念ながら上位にはいけなかったとのです。

ラグビー部の榊野、高橋(稔)、出来島、サッカー部の小林、土田、高橋(直)、青木、塩谷、西澤の各氏に内山で構成するなじらね会は、枯れ木に何とかで今回、納涼会にはじめて女性(松田さん、松本さん)をお誘いいたしました。予想した通り70歳に近い男どもはいつもより高揚し、無邪気にハシヤギ、それはそれは楽しい会となりました。

夢の地球一周旅行-その1

北村 絃一 67回

【動機】小学生の時に読んだ本のコロンブス、バスコ・ダ・ガマ、マゼランなどへのあこがれがあったこと、新潟高校、新潟大学工学部、勤務した会社の先輩の齊藤健さん(62回生)が、年賀状で地球一周の旅に出るということを知らせて来られたときから、いつか自分も行きたいという夢を抱えておりました。

昨年1月、新聞の広告でピースボートの102日間地球一周というのが目に入りました。2月に現居住地で説明会があり行ってみました。北極圏にも行き氷山の周りを遊覧するという事に強く引かれま

した。

私は、一昨年の6月半ばに突然、体調がおかしくなり、夕食も食欲が無く、血圧を測ったところ脈拍が30と出て、驚いてかかりつけの近くの大学病院に駆けつけたところ、完全房室ブロックと診断され、ペースメーカーを植え込むこととなりました。いつ何時どうなるかわからない歳(現在72歳)を自覚し、年輩の近親者の体調も安定している現在、自分の体力もある内にと思い切って妻と参加することにしました。

【旅程】横浜を5月8日に出航、アモイ、

シンガポール、プーケット、コロンボに寄港、スエズ運河通航、ポートサイド、ミコノス島、ピレウス、カタニア、リスボン、ビルバオ、ル・アーブル、ティルベリー、ヨーテボリ、オスロ、レイキャビク、ラグアイラ、クリストバルに寄港、パナマ運河通航、コリント、プエルトケツァル、マンサニージョ、エンセナーダに寄港、8月17日に横浜に入港しました。

【感想】地球上にはいろんな国があることを実感できました。貧困層の多い国も察知出来ました。食事、トイレ、風呂、日本ほど良い国はないのではないかと思います。

***次号会報に続く**船内生活やトラブルを紹介します・・・



東京青山バレーボール クラブ部OB・OG会

滝沢 正規 80回

平成25年1月26日(土)に、新宿三井ビル54階の「三井クラブ」で、青山バレーボールクラブ部OB・OG会が開かれた。

当日は、新制新潟高校誕生間もない頃の61回卒業のOBから、平成に卒業した109回までのOB・OGたち36人が集まった。会に先立ち、昨年に相次いで逝去された新潟高校バレー部元監督の望月彰氏(49回)や、元日本選手でアジア大会(東京開催)でも活躍された遠藤整治氏(56回)の訃報も報告され、故人を偲び全員で黙祷を捧げた。出席者の中でも特に、60～62回のOBたちは、当時の新潟県下には敵無しの強豪チームで、全国高校総体や国体に出場経験があり、その結束の固さは類を見ないものがある。

また、新潟高校女子バレー部創設に尽力した合田春美さん(66回)をはじめとするOG4人の出席もありました。昭和40年頃までは、天井の高い屋内体育館が少なく、当時は排球と呼ばれていたバレーボールは、屋外でのスポーツとされていた。私(滝沢)も中学時代にバレーボールを始めたが、当時のボールには排球部と書かれていたことを記憶してい

る。幸いにも、新潟高校は、昭和39年に開催された新潟国体のレスリング会場になり、高校の体育館にしては立派な体育館が早くからあった。それでも、当時の昭和40年代後半の北校舎の北側には屋外バレーボールコートが4面あり、バレー部の練習やクラスマッチ等もそこで行われた。また、昭和30年代に卒業したOBたちからは、「五本松のバレーコート」という話をよく聞く。これは、今の新潟高校のグラウンドの浜寄りにバレーボールコートがあり、その脇に五本の松があったことが由来とされている。バレー部でない方々も、記憶されているのでは



岩田亮司・62回

無いかと思う。滝沢(80回)が入学した時には既に無く、五本松の存在は、今ではOBたちの青春の記憶の中にだけ存在していることとなった。

OB・OG会の終わりは全員で肩を組み、旧制新潟中学校校歌「玲瓏の天」や、新制新潟高校校歌「百里流れて信濃川」、「ますらお」などを大合唱して、次回のOB・OG会での再会を約して散会となった。

最後に、この会報をご覧になったバレー部OB・OGの方々へのお願いがあります。関東近県在住のOB・OGの方々は、是非とも滝沢(80回)へ連絡を下さい。次回のOB・OG会の開催時期は未定ですが、その際には必ずご連絡を差し上げます。滝沢の自宅電話番号は042-571-1685、携帯電話番号は、090-5309-7723です。宜しく願いいたします。



出版報告『オクサ・ポロック』

西村 正徳 72回

フランスでは絶大の人気で世界27カ国で出版が決まっている『オクサ・ポロック 第1巻 希望の星』を刊行しました。西村書店は1916年に古本屋から出発して現在はジャンルにとらわれない出版をしています。『オクサ』刊行は創業100周年に向けた記念事業のひとつで、先日、記者会見を行いました。

私は、パリのブックフェアでこの本に出会って、希望や絆の大切さを描いた内容に気づき、とても感銘しました。これは日本でも未来を担う子供たちに読んで欲しい素晴らしい小説だと確信しました。刊行を控えた昨年の12月にフランスへ渡り、あらためて著者の二人(サンドリーヌさんとプリショタさん)に会い、「シリーズに、東日本大震災で希望や絆を強くした日本の子どもたちのことを登場させていただけ

ませんか?」とお願いしたところ、「作品の第6巻に日本のことを書きましょう」と快諾してくれました(ちなみに全6巻と外伝が出る予定の非常にボリュームのある作品です)。

被災地の状況にも耳をかたむけてくれた二人の真摯な姿勢に感謝しています。

ストーリーは、もうすぐ13歳になるオクサと一族が、パラレルワールド「エデフィア」から逃げ、敵と戦い、危機を乗り越えながら故郷へ帰還するために奮闘するというもの。

震災で本を読むことから、遠ざかっている子供さんたちに、少しでも力になれば、と被災地の学校や読書クラブ、仮設住宅に『オクサ・ポロック』を知人を通して届けました。およそ1000冊を贈呈しました。寄贈の先々で「本が自由に読め

る環境が十分ではないので、最新のファンタジーが読めるのはとても嬉しい」という声を聞くとも嬉しくなります。

ゴールデン・ウィークが明けるところには第2巻が発売になりますので、ぜひ宜しくお願いいたします。



『オクサ・ポロック
第1巻 希望の星』
定価1,365円(税込)
お問い合わせは
西村書店
03 (3239) 7671 まで

震災地たずね歩きレポート

星野 紹英 84回

昨年の大晦日を皮切りに、4日間で合計110余km震災地を歩いてきたので、甚だ乱筆ながらも掻い摘んで主な情景に絞って皆さまにご紹介する。

そもその発端は、昨年11月「石ノ森萬画館営業再開」の見出しを目にしたことだった。宮城県石巻市にある萬画館は震災後1年8月を経て再開に漕ぎつけ、しかも大晦日・元日も営業すると知り、「これは是が非でも現地に直接足を運んで入場料を払うことでこの涙ぐましい営業努力に報いたい」と考えた。これだけでも常人離れと自覚するが、旅行は常に「歩き」を中心に考える私が作った計画は、さらに常人離れした歩き詰め。

【初日】大晦日は始発新幹線を使い、8:22松島駅をスタート。この日のメインは東松島市の仙石線休止区間の踏破。東名（とうな）駅は、当時の写真を見ると、レールが枕木ごと津波でめくり上げられ、昔見覚えのある線路脇の「柵」と見間違えたが、今はレールも枕木もすっかり片付けられ、丸裸のホームが1つ残るだけ。

隣の野蒜（のびる）駅は鉄筋の駅舎もある立派な駅だが、手すりや鉄塔は無残に折れ曲がっている。この駅の土砂瓦礫の撤去は米軍のトモダチ作戦の成果。地震の時刻ちょうどにこの駅で列車交換があり、石巻行の方は、停止した位置が、乗客の地元民が「ここは高台」という所で、その助言に従い車内で待機し、津波の難を逃れたという。地震感知による自動停止と思われるのに、現場を見たら僅か200～300mしかない高台区間によくぞ停止したという状況。思わず私は「これは奇跡だ！」と涙が滲んだ。

停止位置から鳴瀬川の河口を挟んだ反対側の浜市地区では、一面に広がる住宅跡の区画毎に食器などの割れ物が1ヶ所に集められていて、傍には、色あせたりボンが棒の先で風になびいている。正確な意味は不明だが、悲しいメッセージに違いない。

【2日目】元日は石巻中心地と萬画館。石巻港と石巻繁華街とを遮るように立つ小

高い日和山は、見るからに避難の拠点ともいうべき所。この山を背に立つ麓の門脇小校舎跡は、被災の象徴的存在。避難した住民の目の前で、周りの住宅は皆津波に流され、同時に火災が発生して、火事は消す術もなく3日3晩続いたという。校舎の骨格だけが抜け殻のようにひっそりと佇む。そこから100m程海側の松の根元に、祠に立て掛けられた振り子時計が置いてある。その時刻は「3時46分」。一瞬地震の時刻と思ったが、びったり1時間違う。後で調べると思ったとおり、この地区の津波襲来の時刻であった。

「萬画」の表記は、石ノ森氏が「ミリオンアート（百万人の芸術）」に繋がると提唱したもので決して誤字ではない。その萬画館の展示物は半分が震災もの。中でも当時の出来事を描いた漫画が印象的であった。地震後職員を皆帰して、スタッフが1人だけ残ったところを津波が襲う。萬画館は旧北上川の中州にあるが、第1波が引いた後に隣の橋の上に取り残された十数人を請じ入れ、その後も1人また1人と徐々に救護者を増やし最終的には約40数人に。4日間孤立状態の後、自衛隊に救出されたという。この後別の階で、たまたま二人連れの一方が「俺、40人のうちの1人だから！」と言うのを耳にし、この漫画のことを思い出した。

実は、この2日間で私の歩きは終りにするつもりであった。しかし、萬画館で繰り返し流れていた当時のラジオ放送で「…女川で10mの津波が…」といていた声が妙に耳朶に残り、また萬画館で購入した震災の写真集を後日つぶさに見ると、私が見た所は、石巻周辺でもまだまだ冰山の一角だと知り、2月の連休に再び足を向け、今度は女川地区と牡鹿半島を歩いた。

【通算3日目】2月9日のメインは女川地区。女川湾の津波の最大遡上高は34.6m。その地点は海から1km以上もあるが、かつて視界を遮っていたであろう家も今は土台が残るだけ。避難地を兼ねて造成された高台「輝望の丘」に建つ病院も、1階天井まで浸水。丘の一角には今回の震災の慰霊碑も立つ。旧女川駅周辺は完全な更地で、初

めて訪れた私にはどこに駅があったか分からない。近くには横倒しのビルも。津波で倒されるのは世界的にも珍しく、津波の研究のために残されるらしい。全部で6つ倒されたというが、私は3つ目にした。また、カタル国国の支援で建てられた真新しい冷庫・冷蔵施設も目を引く。

この日の宿は、昨年12月に開業のニュースが流れたトレーラーハウス「エルファロ」。元の形態での営業ができない旅館・民宿の経営者4人が協同で、まずできることから始めようと開業したという。今の女川の姿と見比べれば、これがやっただというところは頷ける。

【通算4日目】牡鹿半島縦断36km。半島はリアス式海岸のミニモデルであり、深く切り込んだ入り江と海に突き出た岬が交互に織りなす。過疎地ながらも入り江の低地の浜ごとに存在していたはずの集落も、軒並み全戸流失。残った住民は皆仮設住まい。女川原発から数kmの谷川（やがわ）小学校跡も、目測で海拔10mは有にあると思われる高台に立つが、すっぽり津波に吞まれ鉄筋の骨格だけが残る。海からの高さや遠さからは理解不能な光景。私も後日ネットで調べて事情が飲み込めたほど。

半島突端の最終地点は鮎川浜。ここは今以て捕鯨の拠点であり、比較的大きな市街地を形成していたようだが、奥まった山の斜面にしか家が見当たらない。港に近い家の土台だけが残る道路沿いに、郵便ポストとバス停が並んで立つ。近づいてみると現役活動中。周りに何もなくても「ここは『街』として機能しているんだ！」と頑固に主張するように、私の目には映った。

110余kmを歩き終えた今、まだまだ震災地ウォークへの関心は冷めず、地図を広げてこの先続けて北上する歩行計画を作成してみる。岩手県宮古までなら、既に再開している宿泊施設の有無も含めて現実的な旅程で、あと1泊2日×6回の全長500kmを越える歩程となる。この数字を前にして、中々重い腰はそう軽々とは持ち上がりそうにない、と考えていたら、新聞に「三陸沿岸700km遊歩道構想」の見出しが躍った。う～んやっばり宮古じゃまだ中途半端でゴールはもっと先にセツすべきなのか…。



仙石線旧東名（とうな）駅／東松島市：ホームがボツと残るだけ



石巻市萬画館近くの自由の女神



女川町：津波で横倒しになったビル

平成25年 新人歓迎会・講演会のご案内

日時 平成25年6月14日(金)
 受付開始：午後6時
 開会：午後6時30分

会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京
 港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111(代)

会費 一般：8,000円
 女性：6,000円
 大学生：3,000円
 新人(121回生)：2,000円

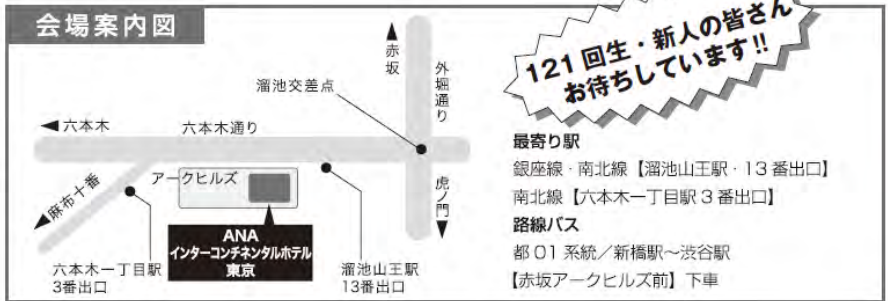
プログラム ◇新人歓迎会◇
 旧3年の担任教諭がご出席予定です。
 ◇講演会◇
 講師：森邦雄(75回)
 ◇懇親会◇
 着席buffet

121回卒・新人の皆様へ
 新住所の届けのなかった方については自宅へご案内を送付しました。転居先のご連絡を事務局までお寄せ下さい。【事務局FAX.03-3423-1692; mail:kusakabe@moon.email.ne.jp】

講師紹介 **森邦雄** (75回・新潟県副知事)
【講演テーマ】「いま、新潟では…」
【略歴】
 昭和46年3月 中央大学法学部卒、
 同年4月新潟県入庁、農林水産部長、総務部長、
 知事政策局長を経て平成20年4月より現職



故郷「にいがた」を「外」から眺めるとどう見えるのか? 知っているようで知らない「にいがた」の姿を現役の副知事の語りから吸収してください。東京へ進学の春は自らの来し方を再発見し、また将来を見据えるための最初のとても貴重な機会です。多数のご参加をお待ちしています。(編子)



- 訃報 ■**
- | | | | | |
|--------------------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|
| 君島日出雄 (44回・H24/7/24) | 羽島富美雄 (51回・H24/3) | 長橋徳衛 (61回・H20/11/8) | 佐藤良介 (76回・日付不知) | 藤田みち子 (76回・日付不知) |
| H24年10月~H25年3月の期間に事務局にお知らせいただいた方々です。 | 村山玄二郎 (52回・H24/9/4) | 三浦愛三 (62回・H24/7/20) | 長野吉伸 (76回・日付不知) | 松田行雄 (76回・日付不知) |
| 心よりご冥福をお祈り申し上げます。 | 久保田剛敏 (56回・H24/6/18) | 常木武敏 (64回・H24/6/16) | 藤田みち子 (76回・日付不知) | 後藤博史 (80回・H23/5/10) |
| | 神信男 (58回・H9/3/1) | 高橋泰二 (68回・H24/5) | 松田行雄 (76回・日付不知) | |
| | 井上正 (49回・H24/6/6) | 吉田教弘 (70回・H24/7) | 後藤博史 (80回・H23/5/10) | |
| | 工藤弘安 (49回・H24/2/9) | 木村茂夫 (76回・H24/10/18) | 長野吉伸 (76回・日付不知) | |

予告 本年度の総会は平成25年11月15日(金)の予定です。(幹事学年：75回)

事務局通信

住所リスト出力サービス

当同窓会では、皆さんからの情報を元にデータベースを更新しております。
【同期会開催のための住所録】が必要な方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストをご提供いたします。ご希望の卒業回数を明記し、代表者の連絡先・送付先を書き添えて事務局宛 FAX. またはメールをお送りください。
 FAX. 03-3423-1692 mail:kusakabe@moon.email.ne.jp (日下部・82回)

■住所リスト1学年/3000円■

偶数月第二火曜日の会 (申込み不要・有志の飲み会)

H25//6/11・10/8・12/10 H26//2/12(木)・4/8・6/10
 毎回定時19時より◇日本海津や(赤坂通り店) 港区赤坂3-13-7
 Tel:03-3586-5003
 場所も時間も固定です。ふらりと立ち寄りください。

Web サイト

◇本部◇ http://www.geocities.jp/niigata_aoyama/
 ◇東京◇ <http://www.tokyo-aoyama.org/>

一筆啓上

*H24年の新人歓迎会・講演会への出欠はがきとメール、H23年度後半の会費振込用紙に添えられた主なメッセージです。

41回・阿部久二/緑内障による低視力の為、資料を読むことが困難ですので、今後御送付を御辞退しますのでよろしく御願いいたします。
 43回・村山登/本人老齢のため身体不自由で外出、所用など思うにまかせません。残念ながら退会致します。悪しからず御了承下さい。
 44回・君島日出雄/父日出雄は平成24年7月24日永眠いたしました。色々とお知らせありがとうございました。(英樹)
 44回・堀清平/父清平は本年(H24)5月16日に永眠致しました。生前皆さまにご厚誼を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。(堀清彦・長男)
 45回・横山敬正/同窓会ご案内有難うございます。横山敬正2007年11月26日他界いたしました。(家)
 49回・井上正/祖父井上正は平成24年6月6日に永眠致しました。生前高校時代の思い出をいつも眼を細めて嬉しそうに話しておりました。貴会の御陰で祖父の心にはいつも高校の風が薫っていたに違いないと思っております。会報が届くと嬉しそうに封を切っていた顔が今でも忘れられません。これからの御発展を

お祈り申し上げます。(祖父名義で寄付を送ります。井上薫) <抄録>
 50回・寺田秀夫/まだ元気で細々年々診療しています。
 50回・時田勇司/病気がちで欠席します。ご盛会を祈ります。
 52回・斎藤泰五郎/ご盛会をお祈り致します。
 52回・村山玄二郎/夫は平成24年9月4日永眠いたしました。長い間お世話になりました。今後の郵便物はご遠慮いたします。(妻村山京子)
 53回・盛山淑郎/ご盛会を祈ります。
 56回・飯島昌彌/"カラオケで歌って仲間とコミュニケーションを図る、まさに脳を刺激する一石二鳥の作業・長寿法といえる"とのこと。56同期の同好の仲間と折々相寄り大いに喋って長寿法を実践しています。
 56回・幸田慶治/病氣療養につき欠席いたします(81才)
 56回・中川邦司/従来から持病で苦労していましたが、八十路入りして一段と老化が進み不自由な身体になりましたので、今回の会費納入を期に退会させていただきますのでよろしくお願ひ申し上げます。

56回・松井昭五/最近クラス仲間の生存者数が減少しています。淋しいことです。入学の昭和18年が遠くなりました。
 56回・松尾直樹/病により車イス生活です。総会出席者各位の祈御多幸!
 56回・皆川正男/後期高齢の域に入りましたが、まだ仕事に就いております。今年4月から長男が内科クリニックを開業したので、私がかかり内科を担当して何とかやっています。
 58回・白崎紀夫/脳梗塞後遺症のため、今後も出席は無理であります。従って此の通知もお出しにならないようお願いいたします。
 58回・神谷勇/神谷勇は平成9年3月1日に亡くなりました。お世話になりました。長い間連絡せずに申し訳ありません。
 58回・皆川敬/平成24年2月7日、81才にて永眠いたしました。お世話になりました。(妻)
 58回・宗村泰四郎/ご盛会を祈念いたします。
 59回・阿部進/元気で。新潟高校の運動部の活躍を期待しています。(特ニスケット)
 59回・岡田久/夜分の会合はもう無理になりました。ご盛会を

一筆啓上

祈念いたします。

- 59回・小池和博／心臓の機能が低下で意識上がりません。原稿だけはポツポツと書いています。辛うじて生きています。ご盛會を。
- 59回・茂原喜彦／先約があり欠席させていただきます。ご盛會を祈念いたします。
- 59回・岡野光弘／本年4月に池袋に転居しました。住所変更をお願いいたします。
- 59回・原田孝／2010年に亡くなりました。
- 59回・渡邊敏男／この夏の暑さにすっかり参っています。いささかの体調不良乍ら、何とか…。会のご盛會を祈ります。諸兄氏によりお伝え下さい。
- 60回・阿部梅太／6月に妻を亡くして寂しい限りです。
- 60回・小林吾郎／体調不良とは言いきれないのですが、やたらと腰が重くなりまして…スミマセン欠席致します。年会費の方は少額ですが続けますので請求案内は送って下さい。
- 60回・小林清／体調不良と先約があり欠席させていただきます。
- 60回・高城英雄／年会費は振り込みました。仲間同志の音信も少なくなりました。
- 60回・丸山敬視／脚の具合が悪く欠席します。ご盛會をお祈りします。
- 61回・阿部亜生／元気でです。23年度会費2000円を、23/08/01日に納入しましたが、会報に記載がありません。善処下さい。
- 61回・金子章／よろしくお祈りします。
- 61回・助川孝雄／先約があり欠席致します。ご盛會を祈念いたします。
- 61回・長沼雄雄／うれしは会費納入者が多い。元気でいる人が多いのでよ。61回はご出席です。これからも頑張らなくちゃ!
- 61回・長橋徳衛／平成20年11月8日に(左人)長橋徳衛とご同席。東京会報送って下さってありがとうございました。皆様のご活躍お祈りしております。ご連絡が遅くなり申し訳ありません。(妻) 聡子
- 61回・長谷部良雄／今年4月に脳梗塞で入院し、現在体調回復に努力しています。
- 61回・吉川芳生／都合がつかせません。すみません。
- 62回・柳厚二／体調が悪く膝を痛めており欠席させていただきます。そんな状態ですのと同窓会も退会させていただきます。
- 63回・五十嵐信一郎／何とか元気でです。ご盛會を祈ります。
- 63回・馬場政説／いつもご連絡ありがとうございます。皆さまのご健勝を祈念いたします。
- 63回・彦坂道彦／それなりに元気にしていますが当日は都合により欠席します。盛會を祈ります。
- 64回・石井正巳／学生時代はソフトテニスにも殆どの大会に優勝しました。インターハイ2回戦、東日本大会3回戦…。
- 64回・江部陽一／有給に多忙です。元気で。
- 64回・大野京一／楽しみにしておりましたが急に都合が出来て参加できません。申し訳ありません。64回生の皆さんによりお伝え下さい。
- 64回・川崎明／64回の総会出席者、最低20名を目標に動員をかけていますが、どうやら達成見込みです。
- 64回・齋木彦彦／欠席します。お知らせありがとうございます。
- 64回・坂井敬／いよいよイベント当番の会です。できるだけ多く集まってもうよ呼びかけをしたいと思います。出席者から同期でテーブルを固めてほしいと言われたいです。よろしくお祈りいたします。
- 64回・佐藤章／ご盛會をお祈り申し上げます。
- 64回・清水良男／担当が64回生に出席できず誠にすみません。ご盛會を心よりお祈りいたします。
- 64回・田村邦彦／足底筋膜炎で歩けないので残念! 64回幹事の坂井敬さん、川崎さんよろしく。ご盛會をお祈りします。
- 64回・田伏正樹／何時もお世話になっております。出欠連絡遅れ申し訳ありません。毎週金曜日はお掛けの欠席させていただきます。
- 64回・常木武敏／本年6月16日、武俊75才にて永眠いたしました。生前のご交誼を深く感謝申し上げます。(内)
- 64回・津野慶浩／体調に自信がなくなり飲み会、ゴルフ会には欠席しておりますが別に別状はありませんのでご安心下さい。
- 64回・中島仁／坂井敬君が一人で苦労しているため、64回ゴルフ仲間が参加予定です。私も何とか介護の間をぬって参加します。
- 64回・藤田昇三／他の会合があるため、欠席です。
- 65回・山口俊一／都合により、会報、案内などを以後送って頂くべく結核です。東京青山同窓会の御発展を祈ります。
- 66回・内田定寛／ご案内御礼申し上げます。昨年の白内障に続きこは10/9に副甲状腺手術をし10/15退院、欠席となります。しかし今年も9/7母校柔道場稽古、5人の新入部、来年を期待しています。盛會を祈ります。
- 66回・椿精一郎／今年3月より特養老人ホームに入所したため、今後出席することができなくなりました。
- 66回・二宮晴彦／所用で出席できません。盛會を祈ります。
- 66回・原男／毎時ご案内を有難うございます。「会報」を懐かしく読ませてもらっています。同窓会にはおたいと思いつつ欠席ばかりですすみません。当日の盛會は祈念いたします。
- 67回・中川昇／今回初めて参加させていただきます。よろしくお祈りします。
- 68回・高橋崇二／いつもお世話になっております。高橋崇二はこの年5月に永眠いたしましたのでご報告申し上げます。宜しくお祈り申し上げます。
- 69回・高木敏之／相変わらず忙しく働いています。IMW2013Kyotoまで半年を切り、準備万端揃いました。
- 70回・田辺豊／事情により新潟の本部会加入に絞る東京青山会から脱会致します。
- 70回・土田進／前略 同窓会の運営にご尽力戴き大変ご苦労様です。小学生調勞しなく極力外出を避けて居ります。よって退会したいと思っております。今後は案内送付はご遠慮いただきますようお祈りします。草々
- 70回・福島治／ダンチ及びボッカチの語源辞典がデカメロン

- の2巻目を含めて7冊目となりました。現在はデカメロンの第3巻と取り組んでいます。
- 70回・古田教弘／古田教弘平成24年7月逝去いたしました。お世話になりました。手続きよろしくお祈りいたします。(内)
- 71回・太田裕／ご案内有難うございました。出席させていただきます。
- 71回・柄沢卓／甥から総会の話を書きました。お祈りいたします。
- 71回・小塚隆豊／同窓会の発展と数多くの参加者があるように祈り致します。
- 71回・中村英一／新潟へ戻り十数年、東京青山会にはすっかりご無沙汰してしまいました。これだけ空いてしまいますと参加も厳しく誠に勝手乍らこの便りを以て退会をお願い致します。いろいろお世話になりました。会の発展を祈ります。有難うございました。
- 71回・松田裕子／総会に参加いたします。
- 72回・小嶋修一／まだ入社以来、働き続けております。
- 72回・齊藤俊正／元気でやっています。映画「海猿」のパイロット指揮や、B747の運転等のアドバイスを手伝わせてもらいました。
- 74回・岩城平／まだ元気で現役を続けています。
- 74回・内田章／現役はすでに引退していますが、毎日何かと忙しい日々を送っています。
- 74回・江口剛男／会社の行事と重なってしまい、出席できなくなりました。
- 74回・工藤義夫／総会参加します。写真記録担当します。よろしくお祈りします!
- 74回・解良和郎／今年の3月で日立国際電気を退任し、現在は鉄道システムのコンサルタントの仕事を始めました。
- 74回・笹川雅之／47年振りにより流れての校歌や「丈夫」を放吟できることを楽しみにしております。
- 74回・土屋彰義／総会に出席させていただきます。昨年の大地震や豪雨の対応で出張や委員会が多くご迷惑をお掛けしました。よろしくお祈りいたします。
- 74回・渡辺洋一／ご無沙汰しております。新潟大学工学部、NTT通研に就職後、昨年1月で退職し市民大学などに通っております。
- 75回・木戸守／今回は欠席させていただきます。皆様によりお伝え下さい。
- 75回・三富修／4年前に定年退職し、以来神奈川(現住所)を終の棲家にしてます。日々のジギング・読書・近隣探索etc.で元気に自適の毎日を過ごしています。
- 76回・田中邦彦／総会に出席します。よろしくお祈りいたします。
- 76回・新野毅／昨日、S43年度東京地区同窓会にて旧友と再会してきました。東京青山同窓会の御発展を御祈念申し上げます。
- 76回・林誠／お世話になっております。総会に出席いたします。
- 77回・石川彰／2度目の定年退職で7月末に就職を退社しましたが、関係者の尽力によりO10/1からR社へ再就職いたしました。
- 78回・上田憲司／残念ながら9日は神純に行っており参加できません。皆様により。
- 78回・鈴木正明／定年退職後、再任用2年目です。肉体的改造、脳内改造と意気込んで毎日精進しています。
- 79回・川上康夫／総会に出席いたします。
- 79回・富山浩司／現在は大阪に家を構えておりますが、関西青山同窓会には顔を出して大歓迎です。
- 80回・後藤博史／父後藤静夫(48回)は、昨年5月10日に亡くなりました。今後は住所に送付ください。卒業して一度も青山同窓会に出たことはありませんが、卒業して40年振りに同窓会に出てみようと思っております。
- 80回・竹本泰子／東京会の会員ではないのですが、上京の予定があり是非一度出席してみたいと思っておりました。総会出席の件よろしくお祈りいたします。
- 81回・高野俊也／1年ぶりに参加します。仕事の夕夕バタを離れて、新潟の酒が恋しいです。よろしくお祈りいたします。
- 81回・成海孝二／総会の盛會をお祈りいたします。柔道部OBの一人として、各会にて活躍の中諸先輩、仲間より大きな力をいただいております。
- 81回・山田徹／出席できそうです。よろしくお祈りします。
- 82回・柴崎秀一／連絡が遅くなりましたが、題記総会には出席させていただきます。今回よろしくお祈りいたします。
- 82回・西生活子／先日異動になり少々遅くなるかもしれませんが、必ず行きます。
- 82回・福嶋元／ぎりぎりまで調整しましたが、今回は出席できません。次回を楽しみにしています。
- 83回・佐野栄二／遅くなり申し訳ありません。うっかり、出席のご返事をしておりませんでした。
- 84回・飯塚雅士／この度は、まことに残念ですが、欠席させていただきます。
- 84回・大須賀郷子／3年前より毎週金曜日の夜に中国語を習っており、今回は欠席させていただきます。一回レッスンを休むとついで行くのが大変なので悲しからず。総会の盛會をお祈りしております。
- 84回・野口俊介／総会に出席しますので、宜しくお祈り致します。
- 84回・星野都夫／総会必ず出席しようと思っていたのですが、11月9日は日本に居らず参加いたしません。次の機会には是非お会いしたいと思いますので、またご案内下さい。
- 84回・星野昭英／総会は、元より参加の予定ですが、出席させていただきます。
- 85回・奥村基／2008年12月より新潟在住です。現在は母の介護が中心の暮らしです。いろいろな誤解が解け良い選択でした。盛會をお祈り申し上げます。
- 85回・宮沢英之／同窓会総会は欠席させていただきます。
- 86回・吉井正行／11/31に新潟で86回同窓会があり、連続するため今回は欠席します。次回よろしくお祈りします。
- 87回・南正人／BSN制作の「新潟高校創立120周年記念特別番組丈夫羽ばたく軌跡と未来」興味深く拝見しました。現在も、大学生に応援歌の練習、サジキを使っている青藤祭が行われていること、理数科など個性を伸ばす新たな取組など知り、頼もしく感じましたことでした。
- 88回・小竹聡／当日はどうしても欠かせない所用があり、申し

- 訳ありませんがやむを得ず欠席とさせていただきます。盛會を心から祈念しております。春の新人歓迎会・講師のモンゴルのお話、非常に興味深く拝聴いたしました。
- 89回・伊藤孝彦／総会ですが、同期長谷川雄一君から誘われ参加することにいたしました。なお加えて、同期の下川尚君も本メールにて参加申込をさせていただきます。
- 89回・岩野尚子／23年度分をお支払いするのを忘れたようなので、24年分を4口お振り込みします。
- 89回・瀧川久孝／連絡が遅くなりましたが、伊藤孝彦さんも出席させていただきます。
- 89回・西善政信／幹事等に出席できず、スミマセン。総会に出席させていただきます。会報を拝見していると、我が89期の登録メンバーが少しずつ増えてきているみたいで将来が楽しみです。
- 89回・長谷川雄一／間隔になってしまいましたが、11月9日お世話になりました。同期もたくさんお世話の思いも詰まっています。
- 89回・山崎明彦／東京青山同窓会のお話を頂きましてありがとうございます。あいに、同日は所用にて予定があり欠席させていただきます。次の機会につきましても、お誘いいただければ幸いです。
- 90回・森重／総会参加します。同期の池田美弥子さんも参加です。
- 90回・山崎修／宜しくお祈り申し上げます。
- 92回・前田光俊／海外出張のため欠席します。会の御成功をお祈り致します。(杉並区へ転居します)
- 92回・牧野武彦／牧野武彦、この4月から2年間の予定でフィラデルフィアに滞在予定です。(父牧野三)
- 93回・細政政之／後輩から同窓会総会の連絡を受けました。締め切りは過ぎてしまいましたが、可能であれば是非出席したいと思います。転勤が定期的にあるため、会報の送付先は「実家」でお願いいたします。では、11/9を楽しみにしています。
- 96回・滝沢有希子／残念ながら、当日は心理学の勉強会と予定が重なって出席できそうにありませんが、また火曜の会に参加したいと思っておりますのでよろしくお祈りいたします。
- 102回・森かほ里／総会出席させていただきます。宜しくお祈りします。
- 104回・荒貞博／総会に出席させていただきます。また同期の丸山道則も出席を希望しています。どうぞよろしくお祈りいたします。
- 104回・佐藤英／120周年おめでとうございませ。記念すべき日に同席できて光栄です。皆様笑顔にお会いできる事実に喜んでいます。
- 105回・柳通こずえ／泊まりのフラットが入ってしまいました。出席できず残念です。また今度お手伝いさせていただきます。
- 107回・市橋哲順／総会は予定を空けておきたいと思っております。同期の小嶋川をほじく、きと多くの新高高校OB、OGが当社にもいらっしゃるんだろうなと思うとともに、各方面でご活躍の先輩方へ会える機会を非常に楽しみに思っております。
- 112回・金澤信太郎／総会に参加させていただきます。ご連絡が遅れましたが、どうぞよろしくお願い申し上げます。
- 113回・岡高純／残念ですが所用により欠席いたします。ご盛會をお祈り申し上げます。
- 113回・岡佑樹／お世話様です。総会には出席します。よろしくお祈り致します。
- 113回・初木康行／ご案内ありがとうございます。当日は都内に出張予定ですので、久しぶりに早い時間から出席出来そうです。よろしくお祈り致します。
- 115回・本井典子／ご連絡ありがとうございます。大変申し訳ございませんが今回も仕事の都合により欠席させていただきます。盛會をお祈り申し上げます。
- 116回・土井善貴／出席させていただきます。よろしくお願い申し上げます。
- 116回・遠山優香／同窓会総会は欠席となります。お手数お掛け致しますが、どうぞよろしくお願い致します。現在東京の大学院に通っておりますが、もうすぐ地元へ戻りますので、新潟の住所をご登録下さい。
- 116回・山路善貴／青山東京同窓会に参加致します。よろしくお祈り致します。
- 117回・榎本飛鳥／出席させていただきます。第1部の司会を仰せついております。就活について総会では前向きな報告ができそうです。
- 117回・大竹里実／総会のご案内ありがとうございます。卒業論文を書くにあたり、今回どうしても予定を調整することができませんでした。残念ですが欠席とさせていただきます。
- 117回・福原周／申し訳ありませんが、今回も欠席させていただきます。来春から法科大学院へ進学することとなりました。
- 117回・松原ひとみ／住所が変わりました。よろしくお祈りいたします。
- 117回・宮本洋子／総会ですが、申し訳ありませんが欠席とさせていただきます。よろしくお祈りいたします。
- 118回・池田和史／大変遅くなりましたが、出席させていただきます。
- 118回・小黒店生／ご案内頂きありがとうございます。大変申し訳ありませんが、今回も欠席させていただきます。ご盛會をお祈り申し上げます。
- 118回・瀧澤希美／8月から1年の予定でアメリカ留学中です。そのため住所は新潟に戻してありますので宜しく御願致します。
- 118回・和田直子／初めて出席させていただきます。よろしくお祈りいたします。
- 119回・岡千裕／返信遅くなりすみません。欠席致します。
- 119回・渡邊祐香／(欠席) 連絡が遅くなってしまいました。申し訳ありません。
- 120回・阿部佳南子／ご案内頂きありがとうございます。11月は何とか多忙のため欠席させていただきます。
- 120回・宮本真理子／出席させていただきます。宜しくお祈りします。

